



2020年8月24日に開催した日独シンポジウム「ニューノーマル——新しいモビリティと都市の未来」は、ベルリン日独センターが実施した初のハイブリッド会議でした。新型コロナウイルス・パンデミックの影響で、ベルリン日独センター会場にはドイツ在の若干名のスピーカーのみ集まり、日本在のスピーカーおよび観客とはウェブでつながりました。



毎年恒例のオープンハウスですが、2020年はバーチャル・オープンハウスとし、6月13日午後2時から6時にかけてベルリン日独センターのフェイスブックサイトおよび YouTube で盛りだくさんのプログラムを生配信しました。ベルリン日独センター初のデジタル事業は大成功でした。



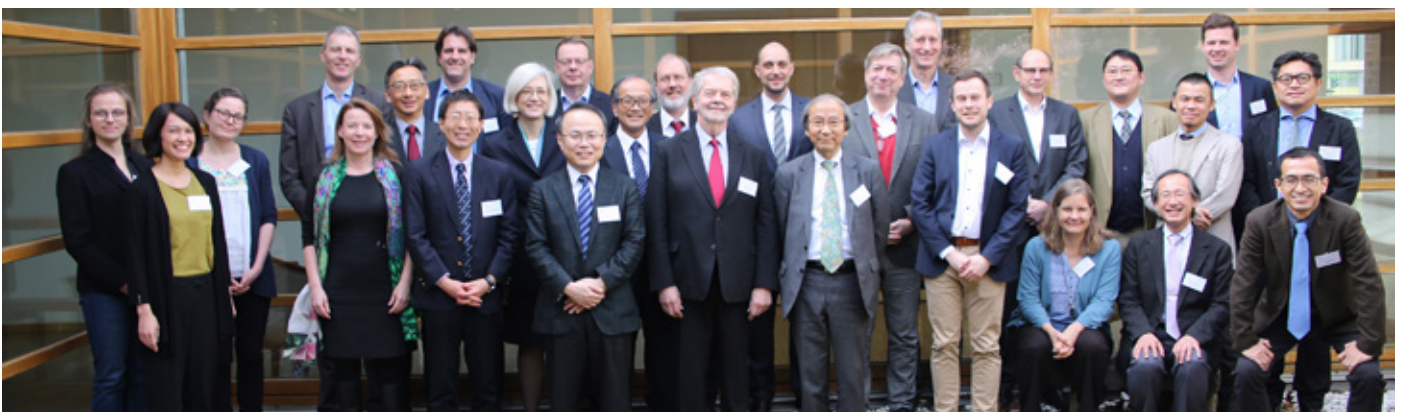
(写真上)2019年1月15日の「カルメンメージ」では国際的に活躍する5人のアーティストが音楽&音&言葉&インスタレーションからなるエキサイティングなコラボレーション・パフォーマンスを披露しました。写真左はジャズピアニストの高瀬アキ、右は作家の多和田葉子。



(写真右上)東京ベルリン友好都市提携25周年とケルン日本文化会館設立50周年を祝ってベルリン音楽祭と国際交流基金が主催した梅若研能会の能狂言公演(2019年9月3日、於ベルリンフィルハーモニー)は大成功。ベルリン日独センターは協力機関として大きな貢献をしました。
写真© アダム・ヤーニッシュ(Adam JANISCH)



(写真右)現代日本社会科学学会創立30周年記念年次大会の一環で開催された学術会合「日本とドイツにおける社会科学的研究と社会——影響力、組織・制度、展望」(2018年11月23日～25日、於ベルリン日独センター)



2019年3月6日と7日の両日に、日独エネルギー変革評議会(G J E T C)の第6回評議会会議がベルリン日独センターを会場に開催されました。本評議会は様々な省庁や財団の支援を得て、エネルギー政策および気候政策上有用と思われる研究を特定し、日独合同研究グループに委託し、年に2回開催する評議会会議でまとめ、日独政府に政策提言としてあげています。